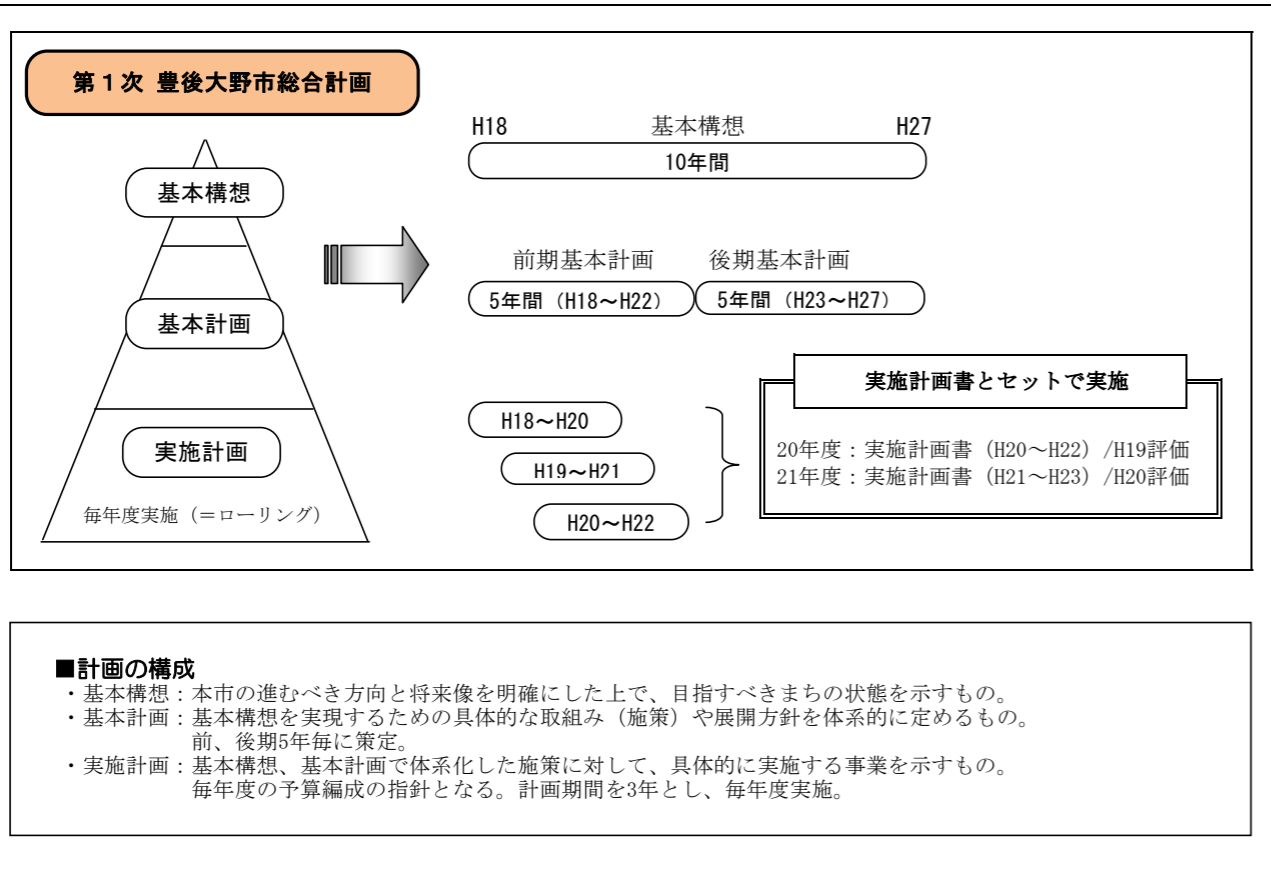


総合計画/実施計画と行政評価との体系図



■計画の構成

- 基本構想：本市の進むべき方向と将来像を明確にした上で、目指すべきまちの状態を示すもの。
- 基本計画：基本構想を実現するための具体的な取組み（施策）や展開方針を体系的に定めるもの。前、後期5年毎に策定。
- 実施計画：基本構想、基本計画で体系化した施策に対して、具体的に実施する事業を示すもの。毎年度の予算編成の指針となる。計画期間を3年とし、毎年度実施。

行政評価システム導入コンセプト

- 市民本位の効率的で質の高い行政の実現
 - 効果的・効率的な行政運営の実現
 - 施策の質及び行政の政策形成能力の向上
- 市民の視点に立った成果重視の行政への転換
 - 成果を重視した行政運営の推進
 - 市民満足度の高い行政の実現
- 市民に対する行政のアカウンタビリティ（説明責任）の徹底
- 市民サービスの最前線を担う職員の意識改革・能力の向上
- 第1次豊後大野市総合計画に掲げる施策体系の計画的・効率的・総合的な推進

導入実績

■実績 (単位：件)

年度	実施計画書	うち事務事業評価
20年度	247	※1 199
21年度	286	※2 240

※1 H19～H21を期間とした実施計画書のうち、H19に終了した事業及びH20以降に実施する事業を評価対象から除外
 ※2 H20～H22を期間とした実施計画書のうち、H20に終了した事務事業及びH21以降に実施する事務事業を評価対象から除外

事務事業評価の検証

■課題①

- 予算と評価の連動性が低い
- 評価結果が次年度予算に反映されていない
- 職員の意識改革につながっていない
- 事務量に対して効果が低い

■課題②

- 総合計画実施計画書との連動性
- 総合計画実施計画書の作成時期
- 前期総合計画の終了 (H18～H22)
- 後期総合計画の策定 (H23～H27)

新たな行政評価システムの構築

新システムの方針

- 行政改革の主要な取組としての手法の確立
- 予算と評価との連動性＝マネジメントサイクル（※）の着実な取組
- 市の設計図である総合計画及び総合計画実施計画書との連動
- 事務量の軽減

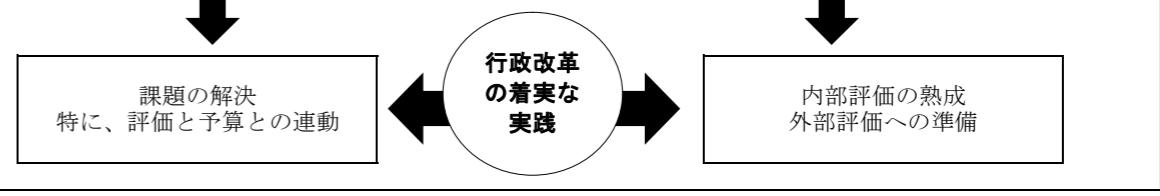
※ マネジメントサイクル
 計画 (Plan) → 実施 (Do) → 評価 (Check)
 → 改善・見直し (Action) のサイクル。
 2年で1サイクルを毎年度、継続して実施。

改善内容

■具体的な改善内容

- 従来の評価シートを改良
- 評価項目の簡素化
- 決算統計資料（事務事業費内訳書）の活用
- 全事務事業を対象

- 評価委員会の設立
- 従来の評価手法を改良
- 自己評価責任の徹底



新システムのイメージ図

